

## 2021年度 第7回理事会 議事録

一般社団法人 日本損害保険代理業協会

日時：2022年2月10日(木) 13:00 ~ 17:10

会場：日本代協 会議室 ハイブリッド出席型バーチャル理事会 (Zoom ミーティング)

出席者：全理事数 18名、出席理事数 18名、出席監事数 2名 (白石監事、津田監事)

リアル出席：金子会長、野元専務、小見常務

WEB出席：副会長、地域担当理事、委員長、白石監事、津田監事は各事務所からWEB出席  
会長 金子智明氏は、議長席につき、出席理事数の確認を行い、本理事会は定款第33条に基づき、有効に成立した旨を報告して開会を宣し、直ちに議事に入った。

### 会長挨拶骨子

・新型コロナウイルスに翻弄され、3年目となるが、日本代協の事業計画推進に尽力いただき、感謝する。  
昨年10月下旬から年末まで5年ぶりに実施した「正会員実態調査」の取組みにおいて、回答率を63.7%と押し上げていただいた。過去最高の回答率が47.2%であり、必達目標50%、努力目標60%と設定し、組織委員を中心に取り組んできたが、12月に入り、各代協の役員・委員が一体となった取組みが進み、回答数が右肩上がりとなった。各代協の底力を改めて確認した。この底力で仲間づくり推進にも取り組んでいただきたい。コロナだけでなく、大雪による行動制限も課される状況にあるが、対策を講じて業務を推進していこう。

### ・業務報告

12/17(金)午前、正副会長と委員長打合せ(諮問事項等) 午後に正副会長打合せを実施、来年度は役員・委員の改選期ということもあり、活発な論議を行った。

1/5(水)損保協会の賀詞交歓会が規模縮小で人数も制限し、ドリンクのみの形で開催された。金融庁栗田監督局長、池田保険課長はじめ、損保各社の社長・役員と一堂に会し、挨拶することができた。

1/11(火)SJ 飯豊副社長、重定営企部長が来会、1/12(水)AD 金田常務、戸高営開部長が来会され、挨拶、情報交換を行った。

2/4(金)東海ブロックの人材育成研修会で挨拶し、野元専務のセミナーにも参加した。分散会も組み込んだWeb研修会で、次世代の人材育成や組織の活性化に期待が持てた。

### ・情報提供

先日、自分自身が濃厚接触者となり、改定前の旧ルール適用で20日間の自宅待機(含む健康観察)を余儀なくされた。東京都の例であるが、「社会と家族を守る宿泊型テレワークによるBCP支援事業」というものが東京都の産業労働局のHPに掲載があり、1泊2,000円で都区内24施設・多摩地区16施設を6泊7日まで利用できる仕組みを用意していた。その利用条件に「BCPの策定計画書」があることが入っていた。事業継続力強化計画の認定を受けていたことでも利用条件はクリアできた。行政も懸命に取り組んでいるBCPの策定、浸透について改めて認識し、お客さまへの普及に取組む必要がある。

本日の理事会では3/11の臨時総会の付議事項(次年度の事業計画案・予算案等)ならびに次年度の役員改選の準備にかかる審議事項があるので関連な論議をお願いする。実のある理事会としよう。

## 〔決議事項〕

### 1. 2022年度事業計画への提言（12月理事会議案への追加審議）

- ・事務局より、資料に基づき、2022年度日本代協事業計画に対する長野県代協からの提言内容について、報告があり、対応案について、審議採決の結果、全会一致で承認された。

#### 【決定したこと】

- ・「代理店内部点検者養成講座の企画」について、実施形態や費用を含め検討する。

#### 【主な説明】

- ・提言：自律・自立の代理店を標榜する日本代協ならではの取組みとして、内部点検者養成講座を創設し、点検者の育成を支援する。
- ・目的をしっかりと持ったうえで知識を学び、「監査の勘所・コツ」を養う必要がある。
- ・「ふうたのワンポイントレッスン」の発展形も視野に入れながら、日本創倫のアドバイザーと実施形態等を検討する。外部監査、Web監査の組み合わせを含め、上半期に検討を進め、下期に提供できるよう取り組む。

〔資料 審1.〕2022年度日本代協事業計画に対する提言への対応案（長野県代協）(P.1-2)

### 2. 2022年3月開催 2021年度臨時総会の開催形式・日程・運営・付議事項等の審議

- ・事務局より、資料に基づき、2022年3月開催の2021年度臨時総会(1)開催形式、(2)日程、(3)運営、(4)付議事項について提案があり、項目ごとに審議採決の結果、全会一致で承認された。

#### 【決定したこと】

##### (1)開催形式

開催形式はZoomを利用する「ハイブリッド出席型バーチャル総会」とする。

##### (2)日程

開催日 2022年3月11日（金）  
会場 日本代協会議室（東京都千代田区有楽町1-12-1新有楽町ビル321区）  
日程 10：00～ 臨時総会  
12：45～13：45 政治連盟通常代議員会  
14：00～16：45 全国会長懇談会  
17：00～18：00 セミナー  
（講師：日本地震再保険㈱ 常務取締役 池田基己氏  
テーマ：地震保険の現状と今後の課題ならびに代理店への期待）

##### (3)総会運営

総会議長候補者（1名）、議事録署名人（2名）の選出  
・議長候補者 村田 泰章氏（栃木県代協会長）  
・議事録署名人 安富 良氏（香川県代協会長）、西 勝弘氏（新潟県代協会長）

##### (4)2021年度臨時総会付議事項

第1号議案 2022年度（第59期）事業計画案承認の件  
第2号議案 2022年度（第59期）正会員会費額案承認の件  
第3号議案 2022年度（第59期）収支予算案承認の件

- ・ ついで(5)付議事項の審議について、会長および事務局より、第1号議案から第3号議案の提案があり、審議採決の結果、第1号議案については以下の修正を行った上で、第2号議案については提案内容どおりに、第3号議案については代協事務局強化としてオンライン環境整備費用を織り込んだ修正を行ったうえで臨時総会に付議すること、並びに、表記の微修正等に関しては事務局に一任することが全会一致で承認された。

【決定したこと】

(5)2021年度 臨時総会付議事項審議

第1号議案 2022年度(第59期)事業計画案承認の件

- ・事業計画のポイント
- ・代理店・募集人の資質向上
- ・公正な市場環境の構築・代理店価値向上策の推進
- ・実効性あるCSR活動の展開
- ・組織力の強化
- ・活力ある代理店制度の構築
- ・広報活動の展開
- ・代協会員の経営支援・情報の提供
- ・コンベンション
- ・法人運営

〔資料 審2.〕2022年度(第59期)日本代協事業計画案(別冊配布)

(事業計画案の主な修正ポイント：改定・新規部分＝黄色、提言反映部分＝青色で表示)

- ・ P.5 日本代協アカデミーの展開(3)の2・ 利用者ID数を「目指せ、三冠王！」 利用者ID数または利用代理店数を「目指せ、三冠王！」の項目に組み込み
- ・ P.7 「社労士診断認証制度」の3・ 努力目標とする 目標とする(三冠王の自主取組項目に含める)
- ・ P.8 5.代協独自活動の 高校生に対する出前授業の実施 学生に対する出前授業の実施
- ・ P.11 <「目指せ、三冠王！」制度の内容>  
日本代協アカデミー本登録ID数 日本代協アカデミーの本登録ID数または利用代理店数  
出前講座の実施：ミニマム表彰基準5校 学生に対する出前授業の実施：ミニマム表彰基準3校  
社労士診断認証制度「宣言企業」：代協正会員の10%(社労士会連合会HP掲載ベース)を追加
- ・ P.16 【別表】2022年度日本代協各委員会への諮問事項の機関紙委員会の活動について、2022年度は組成せず、事務局マターで作成した日本代協ニュースを対内広報の観点から、広報委員会に事後報告して配信する形式とする。

【決定したこと】

(5)2021年度 臨時総会付議事項審議

第2号議案 2022年度(第59期)正会員会費額案承認の件

- ・ 年額として、当年度の12月末日における社員(日本代協正会員)を構成する加盟代理店の数1店につき1万円として計算した額とする。
- ・ 入会金は零円とする。

### 第3号議案 2022年度(第59期)収支予算案承認の件

- ・財務委員会からの提案が以下の修正を行ったうえで承認された。

#### 【ポイント】

- ・修正：代協事務局強化としてオンライン環境整備費用@10万円(上限)の支援を織り込む。
- ・人材育成研修会を未開催の場合の補助金繰越は、翌年度までとする。
- ・44,603千円の赤字予算とした。
- ・収入の部：正会員会費は減少トレンドを反映、特別会員・賛助会員費は現状と同額で、2022年度のコンサルティングコースセミナーはWeb開催とし、受講申込者数1,300名で組み立て、第11回コンベンションはリアル開催など事業計画案に合わせて設定
- ・支出の部：人材育成研修の2021年度未実施ブロックに対する補助金再計上、総会はリアル集合、理事会は半数をリアル開催、委員会は2回リアル開催として組み立て組織対策費アップ(各代協事務局強化、代理店経営支援施策・ツール提供等)事務機費(業務効率向上ツール、ZoomID数増・クラウドストレージ増強)など事業計画案に合わせて設定
- ・今後の統合による代理店の減少に伴う正会員の減少も想定して、正会員会費額(各代協から日本代協への会費額)を検討する必要がある旨、中期的課題として財務委員会にて問題提起があった。

2022年度概算予算案・2021年度決算見込(財務委員会配付資料 別冊配布)

### 3. 役員の定数ならびに資格審査委員会の設置および委員の選任

- ・会長より、資料に基づき、(1)役員の定数ならびに(2)資格審査委員会の設置および(3)委員の選任について提案があり、審議・採決の結果、全会一致で承認された。

#### 【決定したこと】

- (1)役員の定数 理事 18名(定款 21条 15名以上 30名以内)、監事 2名(定款 21条 3名以内)
- (2)資格審査委員会の設置(委員会はWEB会議で2022年5月6日(金)に開催する)
- (3)資格審査委員会委員候補の選任

村田 泰章 氏(栃木県代協会長)、歳森 宏 氏(岡山県代協会長)、占部 雅志 氏(福岡県代協会長)

## 〔報告事項〕

### 1. 事業計画の進捗状況

#### (1)「正会員実態調査」に関する取組みの成果について

- ・2か月強の本取組みで一体感を体感した。普段、代協活動に参加されない会員に対しても督励の連絡(含む説明)をしたことで、新たな人脈確認や組織の活性化が体感できた。
- ・各代協の底力を確認した。またとても貴重な体験となった。
- ・「役割分担(代申別、支部別など)して電話フォロー」、「メール(~30%) FAX 電話(30%~50%) 訪問(50%超)」、「会長の写真入りの要請書配付」、「トークスクリプトの作成、共有しての展開」などの工夫が見られた。やはり代協の基本はコミュニケーションにある。
- ・今回の取組みで、自代協のガバナンス力が測れた。
- ・調査結果報告書は2/22の組織委員会で初校を確認し、校正に入る。3/2に開催する「活力研」

の場で共有するとともに、校了後は日本代協ホームページ「会員専用書庫」に登載し、金融庁、保険会社などにも提出し、代理店ならびに代協の要望を伝える根拠資料として活用する。

## (2) 三冠王獲得へ向けて

各代協の取組状況や達成見込みについて、情報交換した。

- ・2/10時点で、1.福岡（ゴールド三冠王）2.徳島（三冠王）3.大阪（三冠王）4.福井（ゴールド三冠王）5.奈良（ゴールド三冠王）6.長崎（三冠王）を獲得している。
- ・組織体として総合力が高い代協は、コロナ禍であってもPDCAを回して達成もしくは達成秒読みとなっている。課題は「仲間づくり推進」である。
- ・福岡は前人未踏の5冠6冠の獲得を目指している。
- ・コンサルティングコース受講申込は2/11（金・祝）が申込締め切りなので、最後の指差し確認を行っている。

## (3)(1)(2)以外の事業計画進捗状況について

- ・ベテラン事務局員の退職予定があり、後任育成に腐心している。
- ・成島ADのセミナー企画で過去最高の約350名を動員し、高め合いを実践した。代賠も有効。
- ・認定申請をこだわりを持って推進している。会員総数の20%達成まであと1店。
- ・下期自主入会目標の達成へ向け、総力を結集して取り組んでいる。
- ・次年度改選により多数の会長が交代の予定である。有終の美を協力で働かしている。
- ・ブロック内で協力体制が構築できてきた。
- ・ヒロツパイオ（線虫検査）のブロック公開講座を企画している。
- ・次世代部会セミナー（50歳以下の会員を対象）を開催した。講師は土川AD。
- ・会員拡大のスキーム「長崎モデル」を各会長・委員で共有し、仲間づくり推進に取り組んでいる。
- ・損保各社、地域財務局と賀詞交歓会で挨拶・情報交換を行った。
- ・望月ADセミナーが好評だった。アンケートからも多くの気付きが得られたことを読み取れた。
- ・PDCAが共有できるアクションシートを活用する。さらにブラッシュアップを図っていく。

## (4) 各委員会諮問・推進事項等

### 企画環境委員会

- ・松本委員長より、資料に基づき、諮問事項に関する現状と課題、対策について説明があり、確認、共有された。

#### 【主な内容】

- ・共通化・標準化の検討と募集実態のモニタリングと対応策の実施については、資料に記載のとおり。

#### <チャンネル間競争力強化>

- ・事業継続力強化計画認定の20%取得（2,000社）・強化計画支援企業2,000社（認定代理店が企業顧客1社に実施）数値は2/10配付の三冠王ニュースが最新値。オンラインセミナーは2022年3月15日まで視聴できるよう設営しているので、資料のURLまたはQRコードからアクセスいただきたい。

なお、中企庁HPに「お役立ち情報」も連載されているので確認いただきたい。（地域別委員会別資料P.29-36）

<https://kyoujinka.jp/jigyokeizokuryoku/merit/>

- ・社労士診断認証制度で、宣言 3,000 社、経営労務診断 1,000 社、適合 500 社を目指す。  
2/2 時点データが社労士会から届いた。178 店が宣言している。社労士連合会と協議し、既に認定されている金子会長と廣瀬委員長に対して企業インタビューを行い、社労士診断認証制度の HP に掲載される。また都道府県単位での連携推進については社労士宛に毎月配信されている「月刊 社労士」に取り上げていただくことになっている。  
11 月から YouTube で動画（アバターを使用して作成済）を限定配信しており、こちらも 2022 年 3 月 15 日まで視聴できるので、アクセスし、確認いただきたい。
- ・リスクマネジメント講座については、2 月からは中級編を開始しているが、まだ申込が 12 名という状況である。日本代協アカデミーのお知らせページに全体図とともに申込のための URL を掲載しているので、受講ならびに情宣をお願いする。2 月、3 月と毎月、新たな講座を提供する。セミナーのオンデマンドオンライン配信分はアカデミーのお知らせページから入り、今も視聴することができる。
- ・資料の P.38 に 1/10 の新日本保険新聞の 1 面の「リスクマネジメント講座」の紹介記事を添付しているので、情宣、周知に活用いただきたい。
- ・「認定申請」、「社労士診断認証制度」、「BCP 作成」についてのカウント方法や報告シートに関しては、2/4 にメールにて案内済である。（地域別委員会別資料 P.25）

〔地域別委員会別資料〕 企画環境委員会報告シート（地域別委員会別資料 P.24）

## ・教育委員会

- ・石川委員長より、資料に基づき、諮問・推進事項に関する報告があり、共有された。

### 【主な内容】

#### < 損保大学課程の運営・検証・改善（含む認知度向上・魅力アップ策） >

- ・受講者募集では、セミナー代替策の実施や Web セミナーの立ち上げ・運営にロードがかかり、また損保各社の支援体制も一定揃ったと判断し、2 年前から受講勧奨に関する「募集 P T」は組成しなかったが、各教育委員の健闘により昨年並みの結果が見込めている。2/10 朝の時点で 14 ブロック・37 代協が目標を達成しており、全体でも 1,028 名である。2/11 が締切なので、全ブロック・全代協の目標達成ヘラストサポートをお願いする。  
次年度の対策として、直資代理店や中規模・大規模代理店の教育計画にコンサルティングコースの受講を必須化する働きかけを推進していきたい。
- ・Web セミナーは第 1 回セミナー 24 回を終え、第 2 回セミナーに突入している。  
2/15 に合同運営会議（損保協会との大学課程運営打ち合わせ会議）があり、今後の運営について協議する。代協としての基本方針は以下のとおりである。先週の第 2 回セミナーの初回では、東京代協の磯会長他、副会長や理事の方がファシリテータースタッフとしてセミナー運営に関わっていただき、感謝申し上げます。各地においてもファシリテータースタッフ役を増やして臨んでいきたい。ご支援をお願いする。

なお、Web セミナーの運営スタッフの負荷が過大であり、日当額など対価の改定が急務であるとの提言をいただき、対応を検討している。

#### < 日本代協アカデミーの展開 >

- ・コンサルセミナーの代替策実施、Web セミナーの立ち上げ・運営にロードがかかり、日本代協アカデミーの周知、浸透に関する取組みは十分にできなかった。コンサルティング会社のように会員に寄り添って、時間もかけて浸透させていく必要があると感じている。

## 組織委員会

- ・中島委員長より、資料に基づき、諮問・推進事項に関する報告があり、共有された。

### 【主な内容】

#### <正会員実態調査の推進>

- ・過去にない大きな成果が得られ、皆さまのご尽力に感謝申し上げます。各代協の組織の見直しが進んだとともに、底力を確認することができ、一体感も醸成されたと感じている。また、組織委員同士や会員とのコミュニケーションが取り易くなったという声が随所から上がっていることが喜ばしいことである。

福井 87%、青森 80%、広島 76%、宮崎・山梨 74%、兵庫・鳥取 73%、和歌山・愛媛 72%、新潟・滋賀・香川・大分・熊本 70%と努力目標の 60%を大きく超え、牽引いただいた。

#### <代協・支部の強化>

- ・各代協に関する状況は資料に記載のとおり。

#### <仲間づくり推進>

- ・12月理事会で承認いただいた「仲間づくり推進入会・増強Wキャンペーン」に関しても正会員実態調査の取組みと比例して成果につながっている。

- ・各地の組織委員会に参加して、S J社とT N社の退会が多いという話が出るが、入会者数も両社が多いということを確認いただきたい。S J社入会 67店・退会 141店、T N社入会 50店・退会 115店、M S社入会 45店・退会 61店、A D社入会 34店・退会 40店。

- ・会員化働きかけのための提案先リストを作ることを進めているが、これを具現化した「長崎モデル」を共有し、仲間づくり推進を進めている。「福井モデル」も同様である。

「人による仲間づくり＋仕組みによる仲間づくり」が今後の課題と捉え、次回委員会で検討し、各代協に浸透させていきたい。

- ・県を超えての会員紹介の動きも広がり始めている。インセンティブを検討している。入会ガイドラインでのポイントを振分け、さとふる代協（ある範囲内で返戻品）や日本代協で別途表彰などを検討する。

#### <代理店賠償の推進>

- ・第5回勉強会を開催した。今回は16の事故例研究から、代理店の法的責任とその責任割合（含む所謂言いがかりによる訴訟費用負担）について勉強した。募集品質の向上につながるとともに代理店賠償加入による賠償資力の準備の必要性を広めていく。

- ・M S社より代理店あてに、代理店賠償の加入推進の連絡が配信されているので、仲間づくり推進につなげてほしい。

## CSR委員会

- ・廣瀬委員長より、資料に基づき、諮問事項に関する報告があり、共有された。

### 【主な内容】

#### <ぼうさい探検隊の推進>

- ・1/22 の表彰式はオンデマンド配信となった。損保協会のHPに掲載されている。代協経由のマップではキッズリスクアドバイザー賞（日本代協賞）に、「ひとよし防災ワクワク組（熊本県代協）」が選ばれた。デジタルマップ賞には、「いまいずみ児童クラブ（静岡県代協）」と「THE OBATA（愛知県代協）」が、佳作にも10団体が選ばれた。代協紹介ルートで参加した児童に対しては記念品（オリジナルマスキングテープ）を各代協事務局あて送付済である。

記念品の届け方や独自表彰式開催など各代協で工夫を凝らし、次年度の取組みにつながる活動が展開されている。

#### < 防災・減災の具体的な取組の検討・推進 >

- ・マイタイムラインについては、国交省の資料を用い、委員会メンバーが勉強中である。東京代協で開催した河川局講師とのパイプが構築でき、全国の河川局への広がりを働きかけている。

また、防災教育の一環として「逃げキッド」汎用型を使って小中学生向けマイタイムラインを作成し、ここから「ぼうさい探検隊」につなげるという動きができないか検討中である。

#### < BCP の推進 >

- ・「BCP 策定支援セミナー」は2/7 愛知県代協の開催をもって47代協の開催を一通り終えた。今後は「訓練・見直し」につなげてほしい。また「目指せ、三冠王！」の代協独自取組項目としている「BCP 作成」の店数把握もよろしく願います。

〔地域別委員会別資料〕CSR委員会報告シート（地域別委員会別資料P.49）

## ・広報委員会

- ・野原委員長より、資料に基づき、諮問・推進事項に関する報告があり、共有された。

### 【主な内容】

#### < 日本代協並びに損保トータルプランナーのブランド力向上に向けたPR施策の検討・実施 >

- ・1/1日本代協特設サイトをリリースした。アニメに登場するTPの着用ジャケットにTP認定バッジ着用やカード型認定証ネックストラップの着用が必要であったことを指摘により気付かされた。静岡県代協菊地会長に感謝申し上げる。
- ・「保険を選ぶ前に、代理店を選ぶという考え方。」もアシスト動画で情宣している。
- ・YouTubeCMも1/17配信し、翌日1/18に2.3万回視聴、2/10時点では、紫式部版だけで9.7万回と視聴回数が伸びている。1編が30秒という見易くインパクトある動画であることが奏功していると考えられる。このCM視聴から日本代協HP特設サイトに入ることができ、PRにつながっている。

今回ちらしは紙媒体では作成しておらず、データで提供している。また、必要に応じて、各代協や会員自身のHP、お客さま向けの印刷物等に日本代協YouTubeチャンネルのQRコードやバナーを掲載し、名刺貼付用の動画2次元コード（シール印刷）も活用いただきたい。

#### < 「みなさまの保険情報」の利用拡大に向けた活用推進 >

- ・「みなさまの保険情報」に関しては、12月にアンケートを実施した。対象者は各代協会長、日本代協理事、委員会委員という約120名に協力いただいた。回答は75名からいただき、50名は活用、25名は未活用、未回答の45名は未活用と捉えると代協活動に積極的に関わっている方でも、60%近い方が未活用という状況であった。そこで年度末の時期ではある



が、3/25 に広報委員会全国大会の Web 開催（60-90 分）を企画し、仕切り直しを図ることとした。

< 「代協の魅力を伝えるツール類」の活用推進 >

・まずは消費者向けと代協向けのツールの仕分けを行っている。

〔地域別委員会別資料〕広報委員会報告シート・その他（地域別委員会別資料 P.50-55）

## 2 . 前回理事会（2021.12.15 開催）以降の主な業務報告

### （1）正会員実態調査の集計速報

・事務局より、資料に基づき、正会員実態調査の集計速報について報告があり、確認、共有された。

#### 【主な内容】

・「正会員実態調査・都道府県別回答状況」（最終結果）

全国計の回答件数：7,115 件、回答率：63.7%となり、過去の回答率 を大幅に更新し、回答率努力目標 60%をクリアした。

過去の回答率：2015 年度調査 = 36.4%、2010 年度調査 = 47.2%

・42 代協が努力目標を達成、3 代協が必達目標を達成、2 代協は未達に終わった。ブロック別では 14 ブロックが努力目標 60%を達成、1 ブロックが必達目標を達成、1 ブロックが未達であった。

・調査結果報告書は 2/22 の組織委員会で初校を確認し、校正に入る。3/2 に開催する「活力研」の場で共有するとともに、校了後は日本代協ホームページ「会員専用書庫」に登載し、金融庁、保険会社などにも提出し、代理店ならびに代協の要望を伝える根拠資料として活用する。また、調査報告書は日本代協ホームページ「会員専用書庫」上で会員に開示するとともに、金融庁、保険会社などにも提出し、代理店ならびに代協の要望を伝える根拠資料としても活用する。

〔資料 報 1.〕2021 年度「正会員実態調査」回答数最終（P.3）

### （2）2021 年度 仲間づくり推進（正会員増強運動）1 月末状況

・事務局より、資料に基づき、「仲間づくり推進 1 月末状況」について報告があり、確認、共有された。

#### 【主な内容】

・1 月末状況は、11,171 店(年度入会累計 239 店、退会累計 412 店、合計 173 店)

・代申社ごとの増減は、SJ 74 店、TN 65 店、MS 16 店、AIG 10 店、AD 6 店、大同 5 店、日新 3 店、楽天 3 店、chubb 1 店と減少、一方で共栄 +8 店、セコム +1 店の増店となった。

・2/10 時点で年間入会目標達成代協は、京都、大阪、福井、奈良、長崎、徳島、山口、熊本、福岡の 9 代協。福岡は 18 連覇達成。

・2/10 時点、福岡がゴールド三冠王、徳島・大阪が三冠王を獲得し、福井・奈良がゴールド三冠を、長崎が 3 冠王を獲得している。

〔追加資料〕仲間づくり推進（正会員増強運動）1 月末の実施報告（追加資料 P.1-2）

〔席上配付資料〕「目指せ、三冠王！！」ニュース 0210（席上配付）

### ( 3 ) 日本代協アカデミーの展開

- ・事務局より、資料に基づき、日本代協アカデミーの展開状況が報告され、確認、共有された。

#### 【主な内容】

- ・2/3 時点の利用者 ID 登録数は 831 会員、6,473 名。本年度の目標達成状況は、14.8%と低迷しているが、佐賀、奈良、山梨は目標 ID 数の登録を達成している。「日本代協アカデミー」は、顧客本位の業務運営で真剣に経営努力を重ねる会員を支える日本代協独自の教育の仕組みであることを周知する必要がある。保険会社から要請のある最低基準検証レベルのコンプラ・商品研修だけに終始することなく、一歩踏み出す会員を徹底的に支援する。

〔追加資料.〕日本代協アカデミー利用者 ID 登録状況（追加資料 P.4）

### ( 4 ) 損害保険大学課程

- ・事務局より、資料に基づき、コンサルティングコース受講申込状況、損害保険トータルプランナーの認定状況及び更新状況について報告があり、確認、共有された。

#### 【主な内容】

##### コンサルティングコース受講申込状況

12月1日～2月11日までを申込受付期間としてコンサルティングコースの受講申込を受付中で、2/10 時点入金済 1,028 名と目標 840 名の 122.3%である。最終は 1,200 名～1,250 名と見込んでいる。

##### コンサルティングコースセミナー開催状況

- ・石川委員長の委員会報告時の説明のとおり。

##### 損害保険トータルプランナーの認定状況等

・ 12 月末時点	損害保険トータルプランナー	18,122 名 (+ 151 名)
	認定有効者数	15,618 名 (+ 90 名)
	代理店検索機能登録	4,438 店 (+ 140 店)
	損害保険プランナー	90,906 名 (+ 293 名)
	有効認定者数	32,304 名 ( 521 名)
	ゴールドカード保有者	7,500 名 (+ 380 名)

〔席上配付資料.〕コンサルティングコース受講申込状況（席上配付）

〔資料 報 6.〕損害保険大学課程各コースの認定状況等（追加資料 P.6-7）

### ( 5 ) 2021 年度 活力研 実施報告

- ・事務局より、2021 年度の第 2 回活力研の開催概要の報告があり、共有された。

#### 【主な内容】

- ・開催日時：2022 年 3 月 2 日（水）15:00～17:00 日本代協会議室にて予定。
- ・出席予定者：あいおいニッセイ同和、損保ジャパン、東京海上日動、三井住友海上のリテール営業推進担当部長、日本代協正副会長、企画環境委員長、事務局。
- ・論議内容：

募集現場における代理店と保険会社との様々なギャップ（合併統合、手数料ポイント、乗合承認、費用負担などに絞る）について保険会社の見解を確認し、論議する。

正会員実態調査の集約速報について情報共有する。

### ( 6 ) 2022 年度の代理店賠償の改定

- ・事務局より、資料に基づき、2022年度の代理店賠償の改定について報告があり、共有された。

#### 【主な内容】

- ・補償内容、保険料等の変更はない。賠償審査会も従来通り開催の予定である。1月17日よりゆうちょ銀行の「現金払いの加算料金制度」の導入に伴い、代理店賠償「日本代協プラン」の保険料を専用払込取扱票で振込む場合は、払込手数料は日本代協負担となるが、現金払いの場合は110円の払込人負担が加算されることになる。通帳・キャッシュカード利用の場合の加算はない。

3/5の会長懇談会において「拡大経営品質向上委員会」を開催する。

#### (7) 代理店経営サポートデスクの相談対応状況

- ・事務局より、資料に基づき、代理店経営サポートデスクの相談対応状況の報告があり、共有された。

〔資料 報7.〕「代理店経営サポートデスク」相談事案分類整理～事案明細（P.11-12）

### 3. その他

#### (1) 業界最新情報

- ・金融庁監督局保険課長と47都道府県代協会長との意見交換会は4月開催の予定で日程調整中である。
- ・次の国会にて、代理店手数料ポイント制度が取り上げられる予定である。
- ・昨年秋口から、財務局が全国100店の代理店にアンケート調査を行っている。検査ではなく、好取組事例を探す位置づけと考えられる。  
障がい者対応、公的保険関連、サイバーセキュリティ対策、代理店の諸問題（特に統合関連でお客さまに迷惑がかかったことの有無、有りの場合は事例確認。手数料ポイント制度に関しては説明を受けたか等）のアンケートとなっている。結果はとりまとめて公表すると言われている。
- ・第一生命が銀行代理業の免許取得を申請をしている。生命保険金を支払った後に、自社に銀行商品も含めて取り込む戦略を立てていると考えられるが、この動きにより銀行窓販に関する弊害防止措置の全廃が取り沙汰されている。政治連盟と連携して対応していく。
- ・生保の節税保険については、国税庁と金融庁がタッグを組み、商品認可の段階で厳しいチェックを行うことになったようである。節税保険については今後厳しい局面を迎えるものと考えられる。

〔資料 報8.〕1. 2022年金子会長年頭所感（P.13-14）

<https://onl.tw/72zkPHZ>

2. 1216 損保協会長ステートメント（P.15-21）

3. コンベンションに関する業界紙等記事

0106 保毎記事\_コンベンション式典～基調講演～分科会等（P.22）

0103 新日本記事\_コンベンションパネルディスカッション（P.23）

日本代協ニュース331号コンベンション特集号

<https://www.nihondaikyo.or.jp/wp-content/uploads/2021/12/news331.pdf>

4. 業界関連情報40（P.24-26）

5. 日本代協ニュース332号（P.27）

6. 1227 新日本記事\_代理店経営未来塾開講（P.28）

7. 0103 新日本記事\_中崎章夫アドバイザー年頭特別寄稿（P.29-30）

8. 0120 保毎記事\_ビッグ・ベル（P.31）

(2)その他

- ・その他の資料説明
- ・事務局より、以下の資料に関する情報提供があり、共有された。  
〔資料 9.〕JCM 実績報告（1.12 月買取車両、2.2020 年度実績（P.32-34）

〔監事講評〕

白石監事から以下の通り、監事講評があった。

本日の審議事項、報告事項ともに適正な運営がなされ、熱心な討議がされたものと判断する。いくつかコメントさせていただく。

- ・金子会長の年頭所感を拝見し、大変、共感した。要約させていただくと、代理店と保険会社のコミュニケーションギャップが生じているが、双方にとって不幸なことであるので、強固な信頼関係を築き、スクラムを組んで顧客本位のサービスを実践していくべきであるという指摘、また今後、代理店が持続的に発展していくためには自社の価値を高める必要があり、その一環として「代理店未来塾」や「リスクマネジメント講座」の開設をしたという話、保険代理店はお客様の不安を解消し、安心を提供するいわば安心と信頼のパートナーのような存在であるべきということ、さらに変化の激しい時代だからこそ、経営者は明確なミッションやビジョンを描いて、それを実現するために本気で実行していくことが大事であること、自らの将来像を定めたくて躊躇せずにチャレンジしていく代理店でありたいというような内容だった。

日々、代理店経営に奮闘される理事の方々にとって、経営指針となる、大変勇気づけられる所感であったと考える。私自身にとっても大変励みになるものだった。

- ・正会員実態調査に関しては、各理事の方の熱心な取組みにより、各ブロックが努力目標を突破する成果を上げている。この調査結果を活かして代協活動の活性化につながることを期待している。

また、損害保険トータルプランナーPR 企画動画を YouTube で拝見したが、誰もが知っている歴史上の偉人をモチーフとして使っていることで親しみやすく、シンプルでわかりやすい動画であると感じた。最高峰の資格の受講者を増やすことは3冠王の必須項目にも入れている重要な取組みで、我々代協としてお客様の意向を的確に把握し、ご満足いただける保険サービスを提供できる力量感のある保険のプロを一人でも多く輩出することは最大のミッションのひとつであると考えている。今後、損保トータルプランナーの認知度が一層広まり、かつ存在意義が高まることを期待している。

以上

< 諸会議開催予定 >

2022年2月～2022年11月のスケジュール（案）

損保会館の予約状況ならびに会議体のあり方の改定状況によっては、日程の変更がありますので、予めご了承ください。

2021年度	2月10日(木)	10:30～12:00 13:00～17:00 19:00～	財務委員会 第7回理事会 テーマ:臨時総会議案、通常議題 損保協会との懇談会(正副会長と2理事)	日本代協会議室(理事・監事は要件充足前提に原則リアル参加、各代協会長・その他役員は、Zoom参加) 感染者数増の場合はWeb 会場 とうふやうかい
	3月10日(木)	10:30～12:00 13:00～17:00	正副会長打合せ 第8回理事会 テーマ:総会運営、通常議題	リアル集合形式(日本代協会議室)もしくはWEB会議Zoom開催
	3月11日(金)	10:00～ 12:45～16:45 17:00～18:00	2021年度 臨時総会 政治連盟通常代議員会 - 会長懇談会 セミナー「地震保険について」 日本地震再保株	リアル集合形式(損保会館大会議室)もしくはWEB会議Zoom開催
2022年度	5月6日(金)	10:00～11:30	資格審査委員会(Web委員会)	Web会議
	5月13日(金)	10:30～12:00 13:00～17:00	正副会長打ち合わせ 第1回理事会 テーマ:通常課題	リアルまたはWebHB会議 日本代協 会議室
	6月13日(月)	13:00～17:00	正副会長打合せ	リアルまたはWebHB会議 日本代協 会議室
	6月14日(火)	10:00～	通常総会 理事会 政連臨時代議員会 会長懇談会	リアルまたはWebHB会議 損保会館2F大会議室または日本代協会議室
	6月15日(水)	9:30～16:00 9:30～12:30	新任会長オリエンテーション 新体制理事打合せ	リアルまたはWebHB会議 損保会館もしくは有楽町リファレンスまたは日本代協会議室
	7月1日(金)	15:30～17:30 17:45～20:00	業界紙懇談会(会長、広報担当副会長、広報委員長) 懇親会	日本代協 会議室 会場 未定
	7月7日(木)	16:00～17:30 17:45～20:00	損保7社懇談会(正副会長、教育・組織委員長) 懇親会	日本代協 会議室 会場 未定
	7月8日(金)	10:30～12:00 13:00～17:00	正副会長打ち合わせ 第3回理事会 テーマ:通常議題	日本代協 会議室 (懇親会 無)
	7月15日(金)	15:00～17:30 17:45～20:00	活力研(正副会長、企画環境委員長) 懇親会	日本代協 会議室 懇親会あり 会場 未定
日程調整中				
2022年度	9月8日(木)	10:30～12:00 13:00～17:00	正副会長打合せ 第4回理事会 テーマ:通常議題	リアル:日本代協 会議室 又はWEB会議Zoom開催
	9月9日(金)	11:00～17:00 17:00～18:00 18:20～19:30	第1回ブロック長懇談会 特別セミナー 同上懇親会(有志・会費制)	リアル:損保会館 大会議室 またはWEB会議Zoom開催 会場 未定
	10月14日(金)	9:30～10:45 11:00～17:00	正副会長打ち合わせ 第5回理事会 テーマ:通常議題	日本代協 会議室
	11月18日(金)	13:00～20:00	第11回日本代協コンベンション	グランドニッコー東京 台場
	11月19日(土)	10:00～12:00	第11回日本代協コンベンション分科会	損保会館、近隣施設

以上をもって、議長は理事会の終了を宣し、17時10分閉会した。

なお、WEB会議システムにより、出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態が保たれ、終始異状なく議案の審議を終了した。

上記理事会議事録を作成し、議長並びに議事録署名人が記名押印する。

2022年2月10日

議長                      会 長                      金 子   智 明                      印

議事録署名人   監 事                      白 石   雅 一                      印

議事録署名人   監 事                      津 田   文 雄                      印